

整形外科

I プログラムの名称

慶應義塾大学病院 整形外科初期臨床研修プログラム

II プログラムの指導者

1) 統括責任者

慶應義塾大学医学部整形外科学教室
教室主任 中村 雅也 教授
研修医担当主任 大矢 昭仁 講師

2) 各専門班責任者

- ・脊椎・脊髄 渡辺 航太 准教授
- ・上肢 岩本 卓士 専任講師
- ・下肢 二木 康夫 准教授
- ・骨・軟部腫瘍 中山 ロバート 専任講師
- ・スポーツ 原藤 健吾 専任講師

III 整形外科の概要・特徴・特色

整形外科学の研修プログラムでは、日常で経験することの多い運動器の疾患や外傷に対するプライマリ・ケアの知識と技能を習得する。研修医はいずれかの臨床班に所属し、基本手技の指導を行うほか、各専門班の指導医が、さまざまな疾患の診療や治療計画について総括的教育を行う。

実習は、原則として入院患者の診療を基本とするが、外来診療を体験させるために外来診療の実習も指導医と共にを行い、整形外科外来診療の基本手技や診断に至る考え方を学ぶ。特に日勤業務内での救急外傷への対応を積極的に行ってもらおう。

IV 到達目標

一般整形外科医として、運動器疾患や外傷に対して、基本となる考え方、臨床技術を学ぶ。特に、プライマリ・ケアの場面で頻回に遭遇する主訴にどのように対応し、いかに検査・治療を進めるかという基礎的臨床能力（態度・技能・知識）の習得を重視する。

- (1) 患者・家族と医師との関係を正しく築くことができる。
- (2) チーム医療を実施できる。
- (3) 医療現場において安全管理ができる。
- (4) 患者に的確な問診を行い、情報を収集できる。
- (5) 検査を含めた診療計画を立てることができる。
- (6) 医療事故、院内感染などの問題点を理解し、発生時に正しく対処できる。

V 研修方略

研修期間は原則1カ月以上とする。個人の希望の研修期間に応じて、以下の内容の研修を行う。

研修スケジュール

- (1) 1か月コース：運動器疾患、外傷の基本的な治療方針の立て方について学び、基本的な検査・治

療，手技を習得する。

- (2) 2か月コース：プライマリ・ケアを中心とした治療方針の立て方の実習を重ねるとともに，さらに高度な検査・治療手技を習得する。
- (3) 3か月コース：手術に参画する時間を増やし，整形外科患者の治療の全体を把握できるようにする。さらに基本的な手術手技を習得し，手術器材の操作法を学ぶ。

A 基本的な診察法

- ・ 運動器全般の診察，記載ができる。
- ・ 脊椎の診察，記載ができる。
- ・ 上肢・下肢の診察，記載ができる。
- ・ 神経学的診察，記載ができる。
- ・ 四肢の骨軟部腫瘍の診察，記載ができる。
- ・ 小児運動器の診察，記載できる。
- ・ 救急外傷の診察，記載ができる。

B 以下の検査項目について自分で施行できる。

- ・ 徒手筋力検査
- ・ 関節可動域計測
- ・ 関節穿刺

C 以下の検査の選択・指示ができ，結果を解釈することができる。

- ・ 血液生化学検査
- ・ 筋電図検査
- ・ 肺機能検査
- ・ 細菌学的検査
- ・ 単純 X 線検査
- ・ CT 検査
- ・ 3次元CT検査
- ・ MRI 検査
- ・ 関節造影検査
- ・ 脊髄造影検査
- ・ 椎間板造影検査
- ・ 神経根造影検査

D 以下の基本的治療行為を自らできる。

- ・ 局所麻酔
- ・ 関節内注射
- ・ 硬膜外ブロック
- ・ 脊髄神経根ブロック
- ・ 四肢のギプス固定，ギプスシーネ固定，アルフェンスシーネ固定
- ・ 四肢の包帯
- ・ CPM の管理・施行
- ・ 鋼線牽引
- ・ 介達牽引

- ・ 汚染・挫滅創の処置・管理（咬傷の処置を含む）
- ・ 止血処置・管理
- ・ 神経・血管損傷に対する処置・管理
- ・ 骨折・脱臼の整復・管理
- ・ 捻挫の処置・管理
- ・ 切開・排膿の施行
- ・ 熱傷の処置・管理
- ・ 褥創の予防処置・管理
- ・ 脊髄麻痺の処置・管理

E 手術において以下の行為ができる。

- ・ 清潔・不潔操作
- ・ 手洗い，ガウンの着脱，手袋の着脱
- ・ 基本的な手術手技（止血，創の展開，縫合，結紮など）
- ・ 基本的な手術器材の操作

F 経験すべき疾患からみた病態の診断ができ、症例のプレゼンテーションができる。

G 以下の件について専門家にコンサルテーションができる。

- ・ さまざまな疾患の手術適応
- ・ 放射線治療
- ・ リハビリテーション
- ・ 精神・身心医学的治療

週間予定表は、添付資料を参照されたい。

週間予定表

	早朝 7：30～8：10	午前 8：40～12：00	午後 13：00～17：00
月曜		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 ・ 講義・実習 ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ 専門外来
火曜		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 ・ 講義・実習 ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ 専門外来
水曜	<ul style="list-style-type: none"> ・ モーニング カンファレンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 ・ 講義・実習 ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ 学会予演会(不定期)

木曜		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 ・ 講義・実習 ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ 専門外来
金曜		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 ・ 講義・実習 ・ 手術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手術 ・ 専門外来
土曜		<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来 ・ 講義・実習 ・ 手術 (第 1, 3 土曜除く)	

VI 研修評価

オンライン臨床教育評価システム (EPOC2 : <https://epoc2.umin.ac.jp/epoc2.html>) にて、評価票 I II III の研修医評価、指導医評価、メディカルスタッフ評価を実施する。経験すべき症候/疾病・病態を当診療科にて経験した場合は、病歴要約の提出を確認し、EPOC2 にて承認を行う。2 年間の研修修了時には、評価票 I II III の各評価がレベル 3 に到達するよう指導を行う。